

三 柔 整 た よ り

2017年4月25日発行
平成29年度号



獅子岩 写真提供：熊野市観光協会



公益社団法人 三重県柔道整復師会

目次

CONTENTS

会長挨拶「巻頭言」	1
特集「柔道整復師の施術に係わる療養費に関する現状と課題」	2
平成29年度 東海ブロック会事業計画、収支予算書	7
学術論文「腓骨筋脱臼」四日市地区・渡邊 周先生	8
平成28年度 ボランティア活動報告	10
行事報告（三柔整ギャラリー）	12
防災について	23
会員投函	25
新入会員紹介、移転、退会	27
お悔やみ、事務局紹介	27
表紙の写真	28
原稿募集、編集後記	28
柔道整復師倫理綱領	29

巻頭言

会長 伊藤 宣人



会長に就任させて頂きまして以来、あっという間の2年が過ぎようとしています。

昨年は、国内外とも様々な出来事があり、先ず、志摩市において伊勢志摩サミット「G7先進国首脳会議」が開催され大変な警備のなか、成功裏に終わりました事は記憶に新しいところです。また、伊勢志摩の素晴らしさを世界に発信されましたことは伊勢市民として大変、誇りに思うと同時に故郷の素晴らしさを再認識致しました。さらに、夏には南半球で初めてのオリンピックがリオ・デ・ジャネイロで開催され、特に我々の関係の深い柔道競技におきましては男女共、大変な活躍がみられ2020年に開催される東京オリンピックに向けて大いに期待が持てるのではないかと考えています。そして秋にはアメリカ大統領選挙があり多くの予想に反してドナルド氏が就任するという事となり、今後の世界情勢がどの様になって行くのか大いに注目をしていかなければなりません。さて、我が業界に目を向けますと平成27年秋に反社会勢力による療養費不正受給問題がマスコミにより大きく報じられ、また、その後も自賠責保険不正請求問題が次々と発覚し、業界の信用は大きく失墜し、まさに根幹を揺るがす大問題へと発展してしまいました。

これを受けて国はこれまでの柔道整復療養費について見直しをしなければならぬとして、平成24年10月19日(第1回)より開催されている『厚生労働省社会保険部会柔道整復療養費検討専門委員会』を開催し制度の見直しを踏む事となりました。

私は、施術者の意見を反映する者として(公社)日本柔道整復師会を代表し柔道整復療養費検討専門委員の一人として出席させて頂きました。

内容につきましては、厚生労働省と協議の上、不正防止、適正化に向けて具体的な大きな事項として「1.支給対象の明確化に向けた個別事例の収集、2.不正の疑いのある請求に対する審査の重点化、3.療養費詐取事件等への対応の強化、4.適正な保険請求を促すための施術管理者の要件強化、5.その他」がありました。

平成28年3月29日第7回が開催され、張り詰めた会議の中での発言は緊張の連続であり、流れの中での保険者、学識経験者の発言に対して内容を瞬時に把握し素早い対応と

発言が求められ業界、会員の皆様の為にも「是は是、非は非」として激しい議論を交わしてまいりました。特に学識経験者の医師の委員、特定の健保組合の委員については「柔整は不正ありき」で柔整排除の理論が根強くあり、中々、受け入れ難いものがありました。

本来であれば2年に1回の開催で決めるべき専門検討委員会を平成28年3月29日より平成29年3月21日まで1年間で実に8回を数え平成29年3月21日を以て取り敢えず終了をみましたが、これから細部に亘り詰めなければいけない多くの問題も残しております。

いずれに致しましても多くの真面目に仕事をされている柔道整復師の先生方が「適正な制度」により守られなければなりません。決して「悪化質が良質を駆逐」するような社会であっては断じてならず、また、信頼が損なわれた業界を何としても回復しなければなりません。今、ひたすら自分の限界に挑戦し様々な立場からのご協力を得て本会を守り業界のために尽くさなければならぬと思い邁進をしているところです。

最後に昨年、11月24日(木)新たな公益法人に認定されてから初めて「三重県健康福祉部福祉監査課法人監査班」から立ち入り検査がありました。平成28年8月以降、新たな経験の少ない事務職員2名と公益アドバイザーならびに担当執行理事とで準備に大変、苦勞を致しましたが、厳しい立入検査において特に平成27年6月より平成28年11月までを詳細に亘り点検され、検査の結果、改善事項は1つのみで後は問題なくスムーズに終わる事が出来ました。これらの事務処理につきましては公益アドバイザーの指導の基、事務職員の質の高い事務処理能力と直向きな努力の賜物であり、検査結果につきましては公益アドバイザーを含め、二人には心より感謝をしている所です。

業界における信頼回復は、まだまだ時間がかかりそうですがこれからも行政、保険者様に顔の見えるおつき合いをしっかりとしながら、公益社団法人三重県柔道整復師会を守って行かなければなりません。

会員の先生方におかれましては多くの事業に、ご理解と、ご協力ご参加をお願い致します。

2017年は酉年ということもあり鳥に倣って大空を駆け巡り鷹の目鷹の眼を以て高い視点から様々な事業を見詰め、会員の皆様の為に頑張っていきたいと思っています。

どうかよろしくお願い致します。

特集 柔道整復師の施術に係わる療養費に関する現状と課題

今回の特集は、『柔道整復療養費検討専門委員会』について資料とともに紹介します。

『社会保障審議会（医療保険部会 柔道整復療養費検討専門委員会）』とは、平成24年10月19日、柔道整復療養等について、平成24年度療養費改定及び中・長期的な視点に立った療養費の在り方の見直しについて検討を行う事を趣旨として設置され、有識者・保険者等の意見を反映する者・施術者の意見を反映する者の間で熱い議論が交わされています。平成28年度には開催が一気に増え、平成29年3月21日には第11回が開催されました。その中で、第4回柔道整復療養費検討専門委員会は「柔道整復師の施術に係わる療養費に関する現状と課題について」議論されており、資料の中に興味深い内容がありましたので掲載させていただきます。ご参考まで・・・。

療養費の推移

○ 柔道整復療養費は緩やかな増加傾向にあったが、平成24年度、平成25年度より減少に転じている。

		(金額:億円)					
区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
国民医療費	341,360	348,084	360,067	374,202	385,850	392,117	400,610
対前年度伸び率	3.0%	2.0%	3.4%	3.9%	3.1%	1.6%	2.2%
治療用器具	328	336	350	387	396	406	405
対前年度伸び率	5.1%	2.4%	4.2%	10.6%	2.3%	2.6%	-0.4%
柔道整復	3,830	3,933	4,023	4,068	4,085	3,985	3,855
対前年度伸び率	5.5%	2.7%	2.3%	1.1%	0.4%	-2.5%	-3.2%
はり・きゅう	247	267	293	315	352	358	365
対前年度伸び率	11.8%	8.1%	9.7%	7.5%	11.8%	1.8%	1.8%
マッサージ	339	374	459	516	560	610	637
対前年度伸び率	15.3%	10.3%	22.7%	12.4%	8.5%	9.0%	4.5%

(注1) 平成21年度までは保険局医療費、平成22年度以降は保険局調査課とりまとめの推計

(注2) 柔道整復、はり・きゅう、マッサージ別の療養費の算出について

○ 全国健康保険協会管掌健康保険(平成20年9月以前は政府管掌健康保険)、健康保険組合、船員保険、日雇特例被保険者、共済組合については推計値を、国民健康保険、後期高齢者医療制度については実績値を使用。

○ なお、健康保険組合、船員保険、日雇特例被保険者、共済組合及び国民健康保険の柔道整復、はり・きゅう、マッサージ別の統計が無い又は無かった年度については、

・平成19年度以前の健康保険組合及び国民健康保険については、健康保険組合については、療養費総額の実績値に政府管掌健康保険の柔道整復等の各々の割合を乗じ推計、国民健康保険については、療養費総額の実績値に標準調査に得られた国民健康保険の柔道整復等の各々の割合を乗じて推計。

・平成20年度以前の日雇特例被保険者については、療養費総額の実績値に全国健康保険協会管掌健康保険の柔道整復等の各々の割合を乗じて推計。

・平成21年度以前の船員保険、共済組合については、それぞれの療養費総額の実績値に全国健康保険協会管掌健康保険の柔道整復等の各々の割合を乗じて推計。

・平成22年度以降の国及び地方公務員共済組合については、療養費総額の実績値に健康保険組合の柔道整復等の各々の割合を乗じて推計。

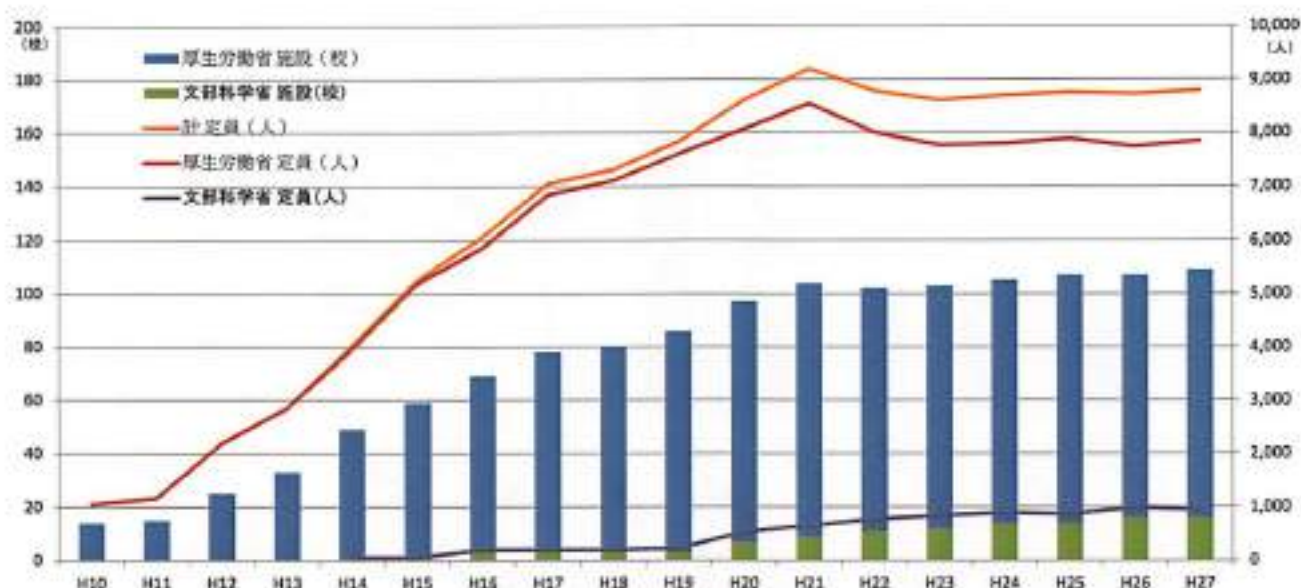
(注3) 治療用器具の療養費の算出について

・平成21年度以前の船員保険、共済組合については、療養費の内訳として治療用器具の統計がないため、集計していない。

柔道整復師学校・養成施設数、定員 年度別推移

○ 平成10年の柔道整復師養成施設不指定処分取消請求事件(注)の判決において、指定基準が充たされる以上は養成施設の指定を行わなければならない、との司法判断により国が敗訴して以来、柔道整復師養成施設が増加傾向にあるが、平成21年度が養成施設の定員数のピークとなっている。

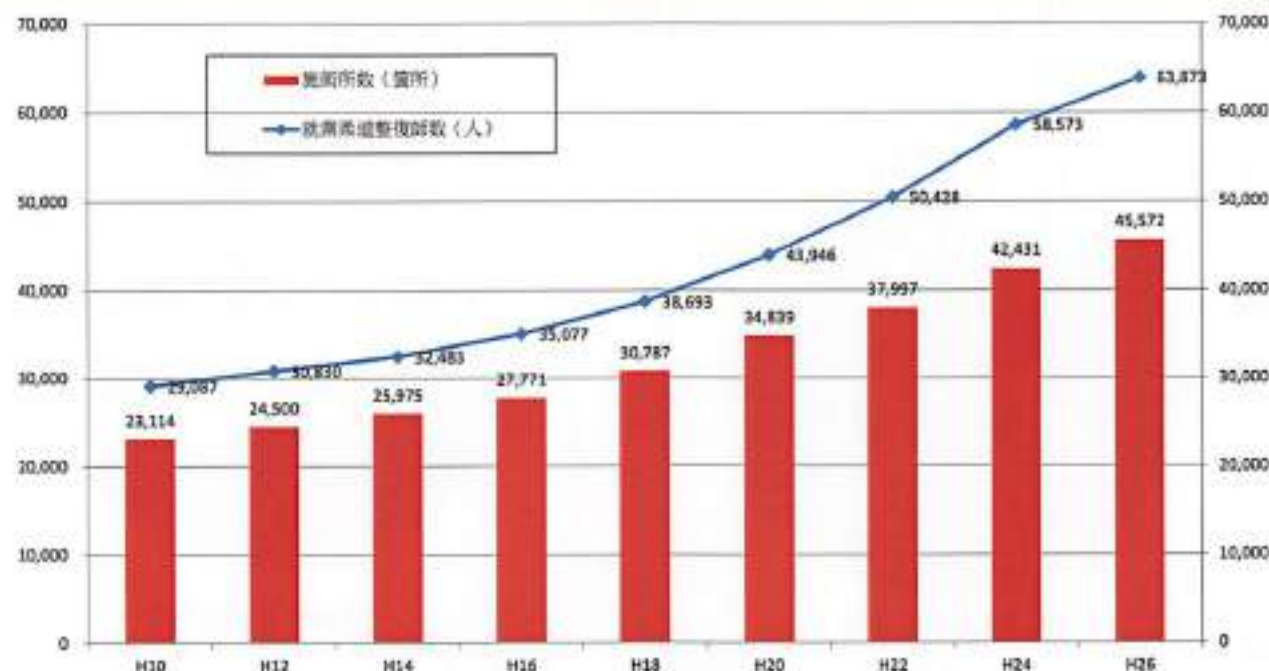
(注) 柔道整復師の需給調整を理由に昭和48年以降、新規の養成校の指定を行っていなかった。このような中で、新規指定申請に対して指定を行わないこととした養成施設から平成10年に福岡地方裁判所に対して訴訟の提起があり、その適法性が争われたもの。



※ 平成27年12月11日「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」資料より

就業柔道整復師数・施術所数 年度別推移

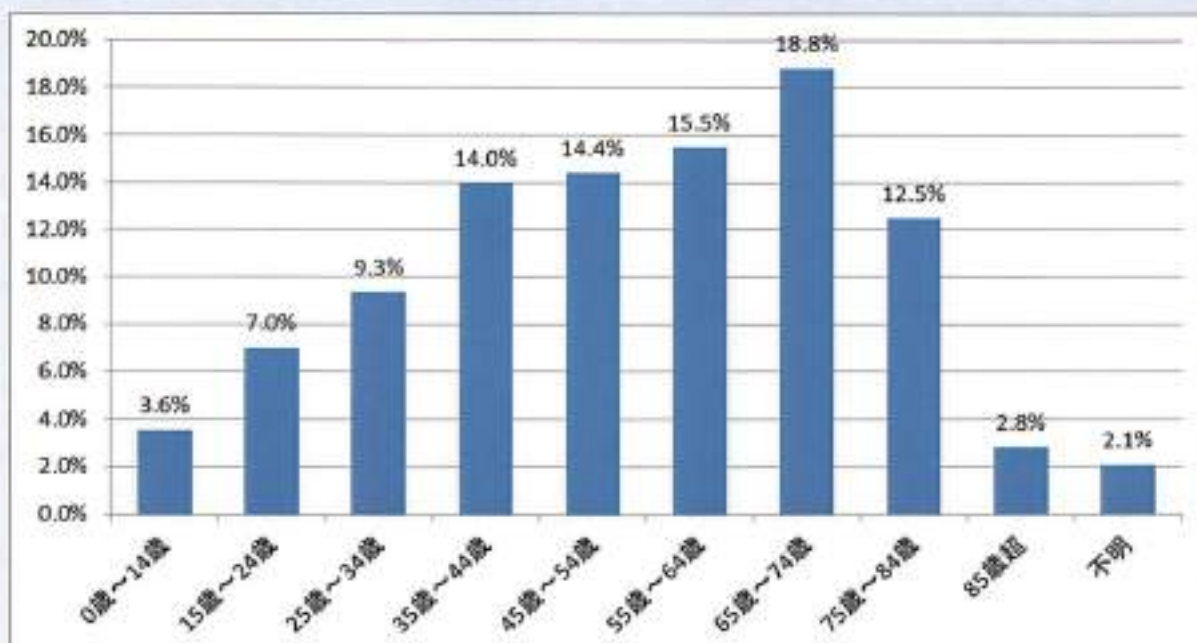
○ 柔道整復師養成施設の増加に伴い、就業柔道整復師数や施術所数は急激に増加しており、平成10年に29千人であった就業柔道整復師数は、平成26年では2倍以上の63千人(+34千人)となっている。



※ 平成27年12月11日「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」資料より

患者の年齢別分布

○ 患者の年齢分布は、年齢の上昇とともに緩やかに上昇し、65歳から74歳の年齢層がピークとなっている。



※ 以下の抽出率にしたがい抽出した平成26年10月柔道整復療養費支給申請書を基に分析

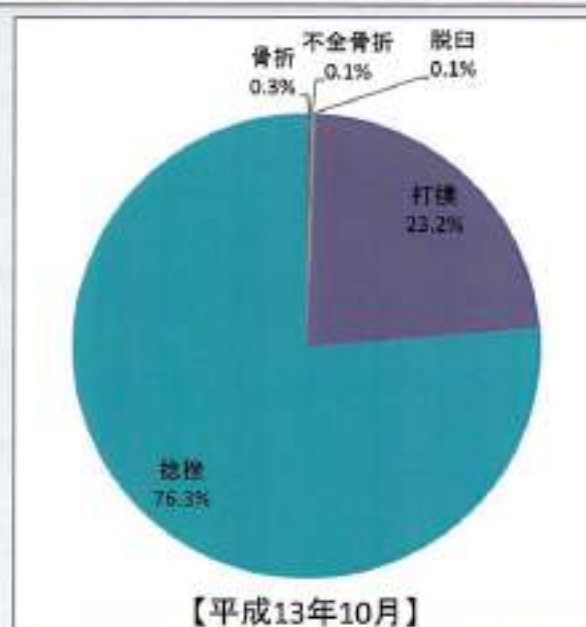
・ 国民健康保険 1/60

・ 後期高齢者医療制度 1/10

・ 全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

患者の疾病別割合

○ 柔道整復療養費の疾病別内訳をみると、捻挫や打撲の施術が療養費のほとんどを占めており、骨折、不全骨折、脱臼の合計は全体の0.1%に過ぎない状況となっている。

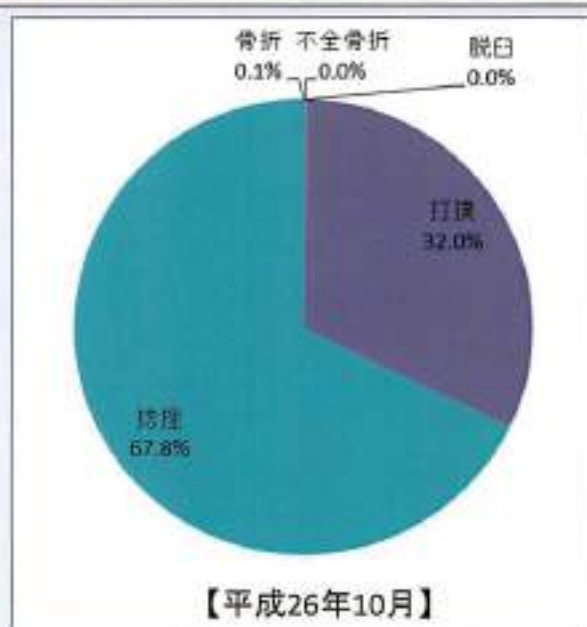


※ 以下の抽出率にしたがい抽出した平成13年10月柔道整復療養費支給申請書を基に分析

・ 国民健康保険 1/10

・ 老人医療制度 1/10

・ 政府管掌健康保険 1/25



※ 以下の抽出率にしたがい抽出した平成26年10月柔道整復療養費支給申請書を基に分析

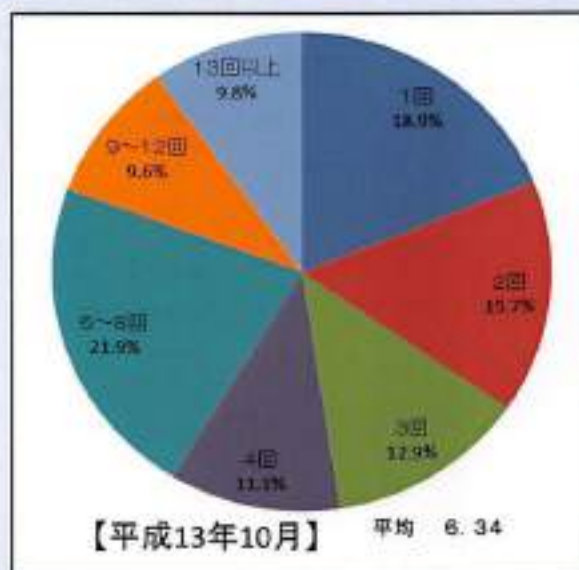
・ 国民健康保険 1/60

・ 後期高齢者医療制度 1/10

・ 全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

一月当たり回数区分割合

○ 一月当たりの平均施術回数は、平成13年の調査時と比較して減少している。



※ 以下の抽出率にしたがい抽出した柔道整復療養費支給申請書を基に分析

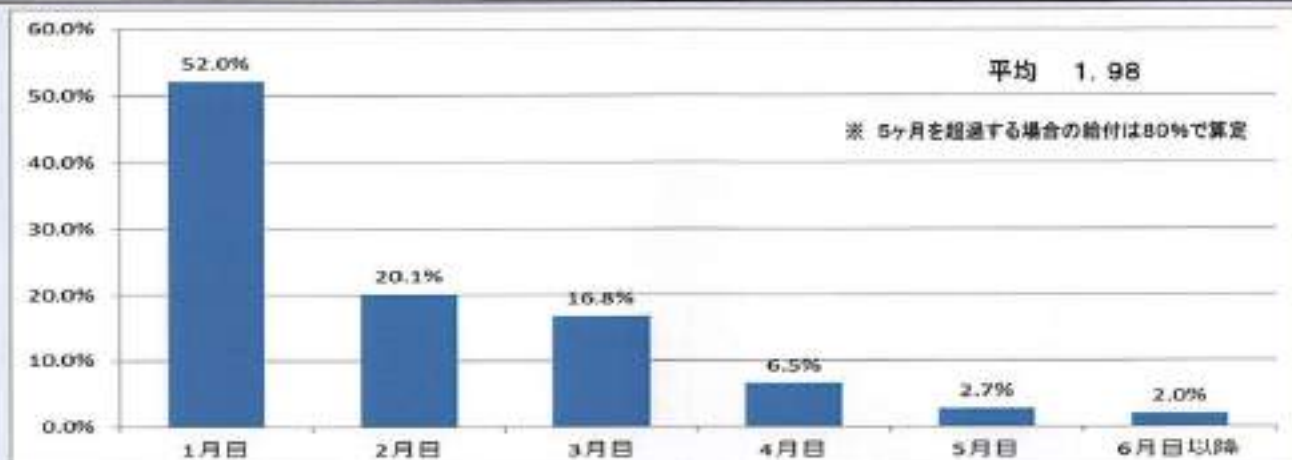
- ・ 国民健康保険 1/10
- ・ 老人医療 1/10
- ・ 政府管掌健康保険 1/25

※ 以下の抽出率にしたがい抽出した柔道整復療養費支給申請書を基に分析

- ・ 国民健康保険 1/60
- ・ 後期高齢者医療制度 1/10
- ・ 全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

初検月からの経過月数の分布

○ 初検月からの経過月数が3ヶ月以内の支給申請書が全体の約9割となっており、3ヶ月を超過する場合に「長期施術継続理由書」の添付が必要となる支給申請書の割合は約1割となっている。



【経過月数別の施術回数の分布状況】

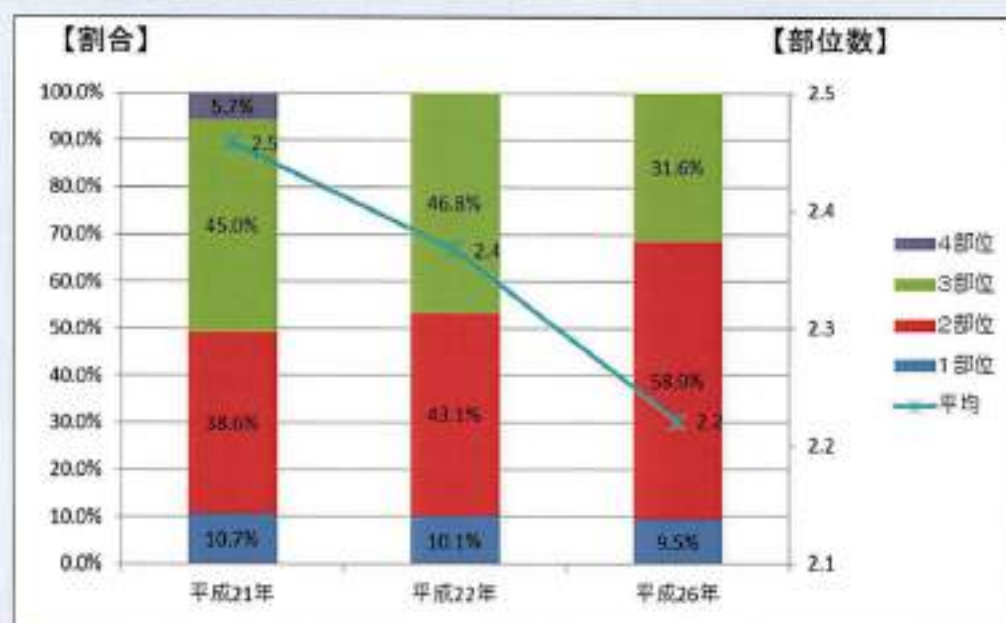
	1月目	2月目	3月目	4月目	5月目	6月目以降
1～4回	88.9%	54.3%	48.7%	48.6%	46.1%	43.8%
5～8回	18.1%	23.6%	25.5%	26.1%	26.9%	25.1%
9～12回	6.9%	10.5%	12.1%	13.2%	12.8%	14.3%
13回以上	6.1%	11.6%	13.7%	12.1%	14.3%	16.9%
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

※ 以下の抽出率にしたがい抽出した平成26年10月柔道整復療養費支給申請書を基に分析

- ・ 国民健康保険 1/60
- ・ 後期高齢者医療制度 1/10
- ・ 全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

部位数制限による部位数の比較

○ 3部位目給付率の見直し(70%→60%)が行われた平成25年度以降、3部位請求が大幅に減少(▲15.2%)し、一方で2部位請求が大幅に増加(+15.8%)している。



※ 以下の抽出率にしがいが抽出した平成26年10月柔道整復療養費支給申請書を基に分析

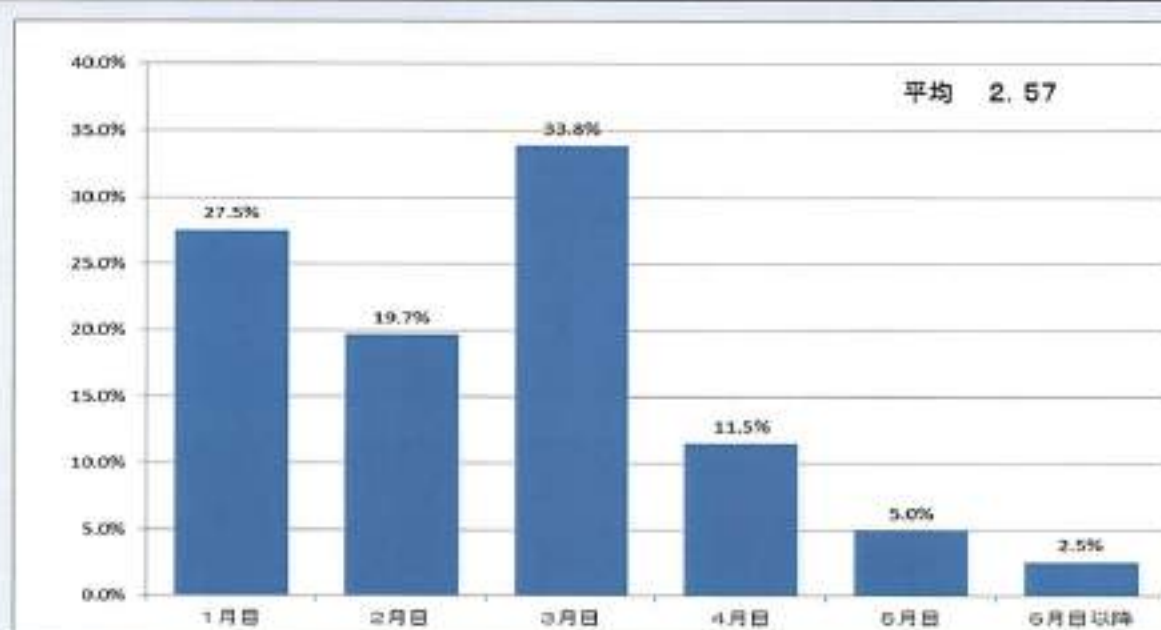
・ 国民健康保険 1/60

・ 後期高齢者医療制度 1/10

・ 全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

平成26年10月時点で転帰が「治癒」となった支給申請書について 初検月からの経過月数の分布状況

○ 3月目に転帰が「治癒」となった支給申請書が突出しており、全体の3割強となっている。



※ 以下の抽出率にしがいが抽出した平成26年10月柔道整復療養費支給申請書を基に分析

・ 国民健康保険 1/60

・ 後期高齢者医療制度 1/10

・ 全国健康保険協会管掌健康保険 1/30

平成29年度 東海ブロック会事業計画

年 月 日	事 業 名	会 場
平成29年 4月 1日 (土)	米田柔整入学式 正副会長会	P.M 2:00 P.M 3:00 「米田柔整専門学校」 名古屋市西区枇杷島2-3-13 TEL.052-562-1210
4月 8日 (土)	監査会(平成28年度決算監査会)	P.M 2:00 「米田柔整専門学校」 名古屋市西区枇杷島2-3-13 TEL.052-562-1210
5月 6日 (土)	正副会長会 決算理事会	P.M 2:00 P.M 3:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL.052-871-2211
7月 2日 (日)	第23回東海4県役員合同協議会	P.M 2:00 P.M 5:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL.052-871-2211
7月23日 (日)	第36回東海ブロック会柔道大会 第14回柔整師杯東海少年柔道選手権大会 第7回東海少年柔道形競技会	A.M10:30 「愛知県武道館」 名古屋市港区丸池町1-1-4 TEL.052-654-8541
10月 8日 (日)	(前日は生涯学習講習会) 第26回日整全国少年柔道大会 第7回日整全国少年柔道形競技会 第41回日整全国柔道大会	「講道館」 東京都文京区春日1-16-30 TEL.03-3811-7151
12月 3日 (日)	公益社団法人日本柔道整復師会 第52回東海学術大会三重大会	A.M10:00 「桑名市民会館」 桑名市中央町3-20 TEL.0594-22-8511
12月17日 (日)	正副会長会 理事会	P.M 2:00 P.M 3:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL.052-871-2211
平成30年 1月13日 (土)	各県会長・学術部長合同会議 「分科会」	P.M 3:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL.052-871-2211
1月27日 (土)	正副会長会 各県会長及び米田学園・米田病院との情報交換会	P.M 4:30 P.M 5:30 「未定」 名古屋市内 TEL. - -
2月24日 (土)	正副会長会 予算理事会(平成30年度事業及び予算審議)	P.M 2:00 P.M 3:00 「愛整会館」 名古屋市中区金山5-13-22 TEL.052-871-2211
3月10日 (土)	米田柔整卒業式	P.M 2:00 「米田柔整専門学校」 名古屋市西区枇杷島2-3-13 TEL.052-562-1210

* 正副会長会は必要に応じて随時開催する。

* 必要に応じて臨時理事会を開催する。

* 卒後臨床研修

【愛整会館】

第1回 開講式 平成29年 9月10日(日)

第2回 平成29年10月 1日(日)

第3回 平成29年10月15日(日)

第4回 開講式 平成29年11月12日(日)

平成29年度 東海ブロック会収支予算書

(自:平成29年4月1日～至:平成30年3月31日)

1. 歳入の部

(単位:円)

科 目	平成29年度 予 算 額	平成28年度 予 算 額	前年比	備 考
1. 負 担 金	4,975,000	5,027,500	△52,500	定額負担金 200,000円×4県=800,000円 (平成28年12月末時点の会員数) 愛知(828)・静岡(339)・岐阜(312)・三重(177)・計(1,656人)×0.2500=4,175,000円
2. 預 金 利 子	1,000	1,000	0	預金利子
3. 雑 収 入	50,000	50,000	0	ブロック会行事関係者祝儀等
4. 繰 越 金	5,281,148	4,700,500	580,648	
計	10,307,148	9,779,000	528,148	

2. 歳出の部

科 目	平成29年度 予 算 額	平成28年度 予 算 額	前年比	備 考
1. 会 議 費	3,000,000	3,000,000	0	
(1) 役 員 費	2,300,000	2,300,000	0	正副会長会、理事会等の旅費
(2) 会 議 費	700,000	700,000	0	正副会長会、理事会等の会議費用
2. 事 務 費	300,000	300,000	0	
(1) 事 務 費	300,000	300,000	0	事務局経費(愛知県)
3. 渉 外 費	400,000	400,000	0	
(1) 慶弔見舞費	200,000	200,000	0	会員の慶弔等
(2) その他の渉外費	200,000	200,000	0	日整・ブロック会関係者慶弔見舞、専門学校入学卒業祝賀等
4. 事 業 費	2,520,000	2,300,000	220,000	
(3) 柔 道 大 会 費	720,000	700,000	20,000	東海ブロック会柔道大会(担当:愛知県)、全日本・世界形競技会特別表彰 日整全国柔道大会(講道館)、機能訓練指導員認定柔道整復師 講習会(予定)
(4) 日整行事協賛費	700,000	500,000	200,000	
(5) 役員合同協議会費	700,000	700,000	0	東海4県役員合同協議会(担当:岐阜県)
(6) 助 成 費	400,000	400,000	0	東海ブロック会柔道大会(担当:愛知県) 30万円 医師配置5万円等
5. 雑 費	30,000	30,000	0	
(1) 雑 費	30,000	30,000	0	振込手数料等
6. 予 備 費	4,057,148	3,749,000	308,148	
(1) 予 備 費	4,057,148	3,749,000	308,148	
計	10,307,148	9,779,000	528,148	

※項目内の流用を認める。

腓骨筋腱脱臼

～手術までスポーツを続けるためのテーピング方法～

渡邊周¹⁾ 渡邊治彦 (MD)²⁾

所属：1) 公益社団法人三重県柔道整復師会 2) 医療法人わたなべ整形外科

キーワード：腓骨筋腱脱臼、スポーツ、テーピング

【はじめに】

今回、接骨院では症例として診ることの少ない腓骨筋腱脱臼の患者が来院し、外固定による保存療法後、経過不良で手術療法に移行したが、手術する前に、出場したい試合があると訴えた。その為の独自のテーピング方法を報告する。

【対象】

平成23年4月から平成27年11月までの腓骨筋腱脱臼と疑った女性(31歳)である。

【発生のメカニズム】

外傷、あるいは明確な受傷機転がなく、腓骨筋支帯の断裂。弛緩によって外果の骨溝から前方に滑脱する。腓骨筋支帯の欠如、浅い骨溝が原因で、先天性、習慣性に腓骨筋腱が外果の前方に移動していることもある。足関節の背屈によって著明となる。

外傷性腓骨筋腱脱臼の新鮮例の場合は、足関節捻挫に似た症状を認める。来院時点では脱臼した腱が自然に整復されていることが多いため、見逃されることがある。

【好発部位】

腓骨筋腱脱臼の殆どが長腓骨筋腱である。長腓骨筋腱が脱臼する原因は、足関節外果後方では長腓骨筋腱が短腓骨筋腱に比べて外側に位置している為である。また、足関節の90°直角位では腓骨筋腱は後方に125°の角度でカーブしているが、足関節を背屈強制すると腱が90°の角度で深く曲げられ、前方外側へ押し出されるような力が加わる。

【発生原因と症状】

平成26年4月4日フットサル中にターンしようと踏ん張った際に、外果部に痛みが走り負傷。腫脹・歩行痛・外果後方の圧痛・足関節背屈時の不安定感があった。

【固定方法】

腓骨筋腱は自然に整復されていた為、整復操作は行わなかった。足関節約30°底屈位にて外固定。松葉杖を使用し、2週間完全免荷での保存療法を指導した。

【経過】

(外)固定除去後、関節拘縮はなかったが、腓腹筋の最大膨隆部の周径差が5mmあったため、チューブを使用し筋力トレーニングを開始し、歩行は日常生活最小限にするよう指導した。平成26年5月17日に周径差が消失した為、ウォーキングを開始したが、ランニングは禁止とした。日常生活での歩行に際しては脱臼することはなかったが、平成26年5月21日に小走りした際に再脱臼した為、わたなべ整形外科に対診を依頼し、腓骨筋腱脱臼と診断された。日常生活だけであれば現状で問題ないが、スポーツをするなら手術適応との一報を頂いた。リーグ戦が平成26年7月19日から控えており、一番出場したい大会が平成26年8月10日で、大会が終わるまで手術を延期し競技を継続したいという本人の希望があり、テーピング固定下での運動と、定期的に受診をするのであればと容認して頂いた。

【方法】

今回使用したテーピングは、ホワイト3.8cmのみでの固定とした。まず、アンカーを巻き、内反捻挫を

予防する為にスターアップとホースシューを2本ずつ貼る。その後、腓骨筋腱が外果を乗り越えないように、腓骨体から外果へ移行する高さの位置で、内果方向から貼り、外果上方の位置でテンションを掛けて足関節を一周する。もう1本テープを半分下方に移動させ、同じ手順で貼る。その時の注意点として、テープが腓骨を縫ってアキレス腱の手前までは底屈位で貼る事、そしてアキレス腱の部位では完全に背屈位とする事。

次に上・下腓骨筋支帯の補助と、背屈を制限させる目的に、足関節から踵骨を通る一本を貼る。この時は足関節を底屈させたまま貼る。注意点として、内側から必ず貼る事と、外果部分ではテンションを掛ける事、そして足背部はかぶれやすいので、アンダーラップを置くか、クリームを塗ってから巻く事。

仕上げにヒールロックを巻く。これは当初クローズで巻いていたが、競技するに当たって、テーピングの締め付けが強く走るのが辛いと言われた為、オープンに変更した。

【結果】

最初テンションの掛け方によっては、脱臼する回数が多い時もあったが、テーピングの回数を重ねていくうちにポイントでのテンションの掛け具合を把握できるようになった。平成26年5月25日から8月24日までの期間で、練習では56回中、44回脱臼を防げた。一方、試合では18試合中、10回しか脱臼を防げなかったが、平成26年9月18日に腓骨筋腱が断裂する事無く、手術を終えた。

【考察】

今回は日常生活ではなく、スポーツするにあたっての、必要最小限での固定方法の為、激しい動きの中で完全に防ぐのは難しいと考える。特に試合では、フットサルの競技特性上、コート内では常に動き、急な反転動作をすることが多い為、汗をかいてテープの粘着力が低下すると脱臼する確率が高まる。しかし、その中でも腓骨筋腱が脱臼する回数を一回でも減らして、腓骨筋腱にかかるストレスを減らさなければならなかった。完全にはいかなかったが、ある程度のテーピングの効果と、患者の気持ちに寄り添えたのではないかとと思う。運動量や運動の質により、伸縮テープの使用などの工夫を今後の課題とする。

【まとめ】

今回の患者は、週に4日程度の練習をして、週末は試合の事が多く、腓骨筋腱断裂のリスクを考えると毎回必ずテーピングを巻かなければならなかった。接骨院単独では診る事が出来ない症例であり、患者の患部の状態を把握する為に、医師の診察を定期的に必ず受ける医療連携と、患者の気持ちに寄り添い信頼関係を築き、指導した事を守ってもらう事、必ずテーピングを巻くという行為を継続していく施術者としての根拠が必要と考える。

【謝辞】

今回の発表に際し、多大なる御協力と御指導を頂きました。わたなべ整形外科院長成瀬治彦先生に深く感謝申し上げます。

【引用文献】

- 1) 社団法人 全国柔道整復学校協会・教科書委員会：柔道整復学－理論編、南江堂2001、330

平成28年度 ボランティア救護事業報告

月	日	曜日	救護大会名	会場	派遣者	派遣人数	負傷者数
4	17	日	平成28年度津市スポーツ少年団空手道交流大会 兼第8回津市空手道競技大会	津市体育館	田中 猛	1	0
	23	土	第65回三重県高等学校柔道選手権大会 第31回三重県高等学校女子柔道選手権大会	名張市武道交流館いきいき	川崎洋平	1	0
	24	日	第43回三重県空手道選手権大会	鈴鹿市立体育館	市川秀彦	1	4
	29	金	第13回鈴鹿地区少年柔道大会	鈴鹿市武道館	中島品弘	1	0
5	1	日	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会三重県予選会	三重武道館	伊藤征彦・古市博己	2	6
	14	土	第47回三重県中学生柔道体重別選手権大会(男女個人)	名張市武道交流館いきいき	西岡正訓	1	4
	15	日	第32回三重県少年少女空手道選手権大会 (兼全日本少年少女空手道選手権大会予選会)	四日市楠緑地体育館	倉谷幸希	1	8
	28	土	第66回県高校総合体育大会柔道競技・東府・全国予選 (男・女)団体・個人	名張市武道交流館いきいき	岡崎修一	1	2
	29	日			古市博己・伊藤征彦	2	8
6	5	日	第31回三重県少年柔道大会 兼第13回全国小学生学年別柔道大会三重県予選会	亀山市西野公園体育館	水谷遼夫・西岡正訓	2	2
	26	日	第22回柔道杯県下少年柔道大会・ 第3回柔道杯県下少年柔道形競技会	県営サンアリーナ	堂本洋一・飯師 朝多野信	2	7
7	2	土	第42回三重県柔道体重別選手権大会	三重武道館	古市博己	1	0
	29	金	第63回三重県中学校柔道大会	名張市武道交流館いきいき	札堂 勇	1	0
	30	土			西岡正訓	1	7
	31	日	第13回東海少年柔道選手権大会兼第6回形競技会兼第 35回東海ブロック大会	県営サンアリーナ	堂本洋一・飯師 五嶋博昭・内藤将希	3	5
8	28	日	全国小学生学年別柔道大会	県営サンアリーナ	橋本 誠・古市博己 西岡正訓・札堂 勇 岡崎修一・橋爪良太	6	12
9	4	日	第9回空手道健成大会	四日市中央緑地体育館	松岡圭介	1	0
	10	土	第3回CTVカップ・第12回いなべ市少年柔道大会	いなべ市市民運動公園体育館	中村明彦	1	3
	11	日			水谷遼夫	1	6
	17	土	三重県高等学校柔道健成大会	亀山市西野公園体育館	川崎洋平	1	4
	18	日					
	19	月祝					
	19	月祝	第33回伊勢地区柔道大会	小俣町総合体育館	中井孝好・西岡正訓	2	2
10	22	木	平成28年度津市民体育大会柔道競技	三重武道館	川口泰史	1	3
	16	日	みえスポーツフェスティバル2016 柔道競技	三重武道館	古市博己・伊藤征彦	2	1
	23	日	第39回四日市市少年柔道大会	三滝武道館柔道場	堀 望・荒木武彦	2	0
	29	土	第4回吉田沙保里杯 津市少年少女レスリング選手権大会	津市久居体育館	内藤将希	1	0
	30	日	第28回津市少年少女空手道選手権大会	津市英里体育館	朝多野信	1	0
	30	日	2016年度北地区錦成大会	三重県桑名北高校武道場	古市博己・水谷遼夫	2	5
	30	日	平成28年度津市スポーツ少年団空手道交流大会 兼第1回津市秋季空手道競技大会	津市会通町総合文化センター	大西弘人	1	1
	30	日	第25回鈴鹿パイロタークラブ杯少年柔道大会	鈴鹿市武道館	中西孝之	1	2
11	13	日	第38回伊賀地区柔道大会	名張市武道交流館いきいき	札堂 勇	1	0
	20	日	平成28年度三重県社会人柔道大会	三重武道館	古市博己・伊藤征彦	2	2
	20	日	第25回松阪地区少年柔道大会 兼第1回松阪市市長杯柔道大会	松阪牛の里「オーシャン」武道館	新谷有紀・三田康代	2	12
	27	日	平成28年度津市民体育大会空手道競技	安濃中央総合公園内体育館	宮原大輔	1	0
12	4	日	平成28年度三重県少年柔道健成大会	三重武道館	田淵隆宣・水谷遼夫	2	7
	10	土	第30回三重県中学生柔道新人大会	名張市武道交流館いきいき	札堂 勇	1	0
	25	日	三重県中学生柔道強化試合	名張市武道交流館いきいき	岡崎修一・橋爪良太	2	4
平成29年							
1	14	土	三重県高校柔道新人大会兼全国高校柔道選手権大会	名張市武道交流館いきいき	岡崎修一	1	1
	21	土	三重県高校柔道新人大会兼全国高校柔道選手権大会	名張市武道交流館いきいき	田淵隆宣	1	1
2	12	日	平成28年度三重県柔道選手権大会	三重武道館	古市博己・伊藤征彦	2	2
	19	日	第36回紀南柔道大会	熊野市営体育館	前田武久・島根晃	2	0
3	14	火	三重県学生柔道大会	三重武道館	橋本 誠	1	3
	19	日	第36回三重県少年柔道大会	三重武道館	古市博己・伊藤征彦	2	3
	26	日	第58回三重県空手道選手権大会	安濃中央総合公園内体育館	掛田 敦	1	4
						65	131



第1回勉強会開催

平成28年5月8日(日)午前10時より第1回勉強会が本会会館で開催され、38名(会員24名・勤務系道整復師14名)が出席しました。

会長挨拶後、前半は学術部による解剖学の基礎講座があり、『触察(触診)技術の向上について』と題して、ロコモベイングループ 共同代表・体表解剖学研究所 講師・伊賀リハビリライフサポート(株)代表であり本会伊賀地区会員の堀智秋会員にご講義頂きました。

今回は肩関節に内容を絞り、まずは構成する骨や付着する筋・腱の解剖学的情報及びそれらの触察法を、スライドやモデルに対し図示・投影するなど実技も交えながら詳しく説明していただきました。参加者もペアになりお互いの肩を触察しあい、骨・筋などを図示・投影し体表上で確認しました。腱板構成筋の付着部に関してや上腕二頭筋長頭腱との関連性等、大変興味深い内容でした。最後は超音波エコー観察の実演とともに、臨床現場での的確な障害評価の重要性を説かれました。

後半は 保険部による『申請書の取り扱いについて』に移り、中村保険部長から自主審査会や各審査会などで不備が目立つ事例や、繰り返し説明・指導が必要と思われる事項(負傷原因や長期理由の不備や詳細な記載について、委任署名や代理署名の原則、休日及び時間外加算について、返戻申請書の取り扱いについて、自賠責の指導管理・運動療法の回数と内容の記載について等)の詳しい説明があり、質疑応答で締めくくりました。



第63回定時総会・第16回協同組合通常総会・意見交歓会開催

平成28年6月5日(日)午後1時から、ホテルグリーンパーク津において第63回定時総会・第16回協同組合通常総会・意見交歓会が開催されました。

伊藤宜人会長挨拶後、総会に移り議長に宮崎巧一会員、副議長に亀山功行会員が選出され議事に入り、第1号議題：平成27年度事業報告と計算書類の承認について、第2号議題：公益社団法人三重県柔道整復師会諸謝金及び交通費規程一部修正の承認について、以上の上程された全ての議題が慎重な審議の上、賛成多数で承認可決されました。続いて報告として第1号報告事項：平成28年度事業計画、第2号報告事項：平成28年度収支予算、第3号報告事項：施術録様式の変更について、第4号報告事項：平成27年度新入会員紹介と進み滞りなく総会は終了しました。

休憩後、午後2時45分からは第16回協同組合総会が開催され滞りなく終了しました。

その後意見交歓会に移り、冒頭、日整が作成したプロモーションビデオが上映され、引き続き会長挨拶、ご来賓の鈴木英敬三重県知事(代読)、田村憲久衆議院議員、島田佳和衆議院議員、中川康洋衆議院議員、中川正美三重県議会議員、津田健児三重県議会議員、今井智広三重県議会議員、そして工藤鉄男公益社団法人日本柔道整復師会会長よりお言葉を頂戴した後、出席者は意見を交歓しました。



第1回公開柔道練習・審判講習会

平成28年6月12日(日)高田高校武道場において、第1回公開柔道練習・審判講習会が本会会員11名、県内の小学生・高校生・大学生41名、各道場の指導者10名の62名の参加により開催されました。

午後3時より公開練習が開始され入念な準備運動の後、立ち技の打ち込み及び寝技・立ち技の乱取り稽古で軽く汗を流しました。

午後5時からは審判講習会に移り、辻本修三重県柔道協会審判委員長にお越しいただき約1時間にわたり講習いただきました。参加者からだされる質問や問題点に対し、実技を交えながらの丁寧な解説と実践現場での注意点等をご説明頂きました。

第22回柔整師杯県下少年柔道大会・第3回柔整師杯県下少年柔道形競技会開催

平成28年6月26日(日)三重県営サンアリーナにおいて、『第22回柔整師杯県下少年柔道大会』『第3回柔整師杯県下少年柔道形競技会』が開催されました。

開会式前30分間にわたり、前年に開催された『第21回柔整師杯県下少年柔道大会』『第2回柔整師杯県下少年柔道形競技会』『第12回柔整師杯東海少年柔道選手権大会』『第5回東海少年柔道形競技会』『第24回日整全国少年柔道大会』『第5回日整全国少年柔道形競技会』のスライド写真を場内スクリーンで紹介しました。

午前9時30分古市博己柔道部長の開会の辞、服部和人副会長挨拶、ご来賓の挨拶、6年生の山本歩夢選手・明石あんず選手の2名による選手宣誓後『第3回柔整師杯県下少年柔道形競技会』が開催されました。県内8地区より8組が参加し「投げの形」の演技を行いました。その後『第22回柔整師杯県下少年柔道大会』に移り県内の道場・柔道教室から272名が参加し小学4・5・6年生男女別による個人戦6部門で頂点を目指しました。試合が開始されると、会場内は保護者や指導者の盛んな声援で熱気につつまれました。

救護の部門では、例年同様に従来からの本会救護班に加え、堂本洋一伊勢慶友病院院長(脳神経外科医)にお越しいただき、救護活動を担当していただきました。

各部門決勝戦・全国大会選手選考試合後、昨年同様(取)脇田章敬氏(受)深美幸治氏による「投げの形」が演武されました。

今回の柔道大会各部門の上位4名と形競技会優勝ペアは7月31日(日)三重県で開催される『柔整師杯第13回東海少年柔道選手権大会』(個人戦)と『第6回東海少年柔道形競技会』へ出場しました。



大会結果及び東海大会出場者

東海大会出場者

	優勝	準優勝	第三位	第三位
4年生	男子の部 正井 佑季 大道館	相澤 燎 松阪市武道館	井上 晃輔 神前柔道教室	太田 寛汰 菟野柔道教室
	女子の部 早川 綾香 松阪市武道館	濱中 千晴 紀宝柔道会	松本 美海 石博道場	稲脇 千夏 尚武館
5年生	男子の部 三浦 康瑚 さざれ道場	山科 啓容 松阪市武道館	尾崎 勇海 さくら道場	萩 颯太 菟野柔道教室
	女子の部 坂山 成 松阪市武道館	落合 渚 松阪市武道館	松田 茜 さざれ道場	山口 真理 さくら道場
6年生	男子の部 山本 歩夢 鳥武館柔道SP少年団	田中 蒼志郎 三重武道館	藤井 翔太 亀山柔道クラブ	山村 洸斗 柔俊塾
	女子の部 明石 あんず 中央柔道クラブ	小島 三奈 尾翼柔道SP少年団	山口 ひかる 神前柔道教室	川村 京花 神前柔道教室

全国大会出場者

4年生	早川 綾香 松阪市武道館
5年生	三浦 康瑚 さざれ道場
	山科 啓容 松阪市武道館
6年生	山本 歩夢 鳥武館柔道SP少年団
	田中 蒼志郎 三重武道館



また10月9日(日)講道館で開催される『第25回日整全国少年柔道大会』(団体戦)には4年生＝早川綾香さん、5年生＝三浦康瑚君、山科啓容君、6年生＝山本歩夢君、田中蒼志郎君の5名が三重県チームとして出場しました。

形競技会結果

順位	優勝	準優勝	第三位
道場名	三重武道館	さくら道場	桑名柔道教室
取	6年 樋垣 皓也	5年 山口 真理	6年 岡田 うらら
受	5年 中野 義建	5年 石川 輝妃	5年 三石 鈴

東海大会出場者

取	6年 樋垣 皓也
受	5年 中野 義建



第22回東海4県役員合同協議会

平成28年7月3日(日)午後2時から愛整会館において、第22回東海4県役員合同協議会が開催されました。

協議事項として①「学術関係について」を愛知県が担当し『柔整学校のカリキュラム・国家試験改善検討について』を報告。次に②「公益事業関係について」を静岡県が担当し『公益事業を行う上での注意点や罰則内容等』を簡潔に説明。続いて③「保険関係について」を岐阜県が担当し『審査請求の流れと請求期間の変更点』を詳細に説明。最後に④「自賠責関係について」を三重県が担当し『自賠責保険の対応と最近の問題点』を報告しました。休憩後に約1時間、4県によるディスカッション・質疑応答で締めくくりました。

その後、情報交換会で更に意見を深めました。



第2回公開柔道練習

平成28年7月10日(日)午後3時より高田高校武道場において、本会会員11名、県内の小学生・中学生・高校生91名、各道場の指導者10名の112名の参加により、第2回公開柔道練習が開催されました。

厳しい暑さの中、非常にたくさんの参加者で武道場からあふれ出すほどでしたが、準備運動に続き寝技・立ち技の打ち込み及び乱取り稽古で汗を流しました。東海少年柔道選手権大会・東海ブロック会柔道大会を目前に控え、出場予定選手の切れのある動きが特に目立っていました。

稽古終盤には東海少年柔道形競技会に出場予定選手による形の演舞があり、参加者の厳しい視線の中、日頃の練習の成果を披露しました。

平成28年度救急救命講習会

平成28年7月24日(日)、四日市中消防署において午後1時から4時まで平成28年度救急救命講習会が開催され、本会会員19名が受講しました。

本会は三重県知事と大規模災害に備えた『災害時の柔道整復師救護活動に関する協定』を締結しており、この協定に基づく救護活動に対応した普通救急救命講習ですので、県内すべての会員に受講していただける様に、本年度から北部・中部・南部と開催地を3カ所に分ける事となり、今回は桑名・四日市地区の会員を中心に参加していただきました。

講習では一次救命処置の流れ・心肺蘇生法・胸骨圧迫・人工呼吸・AEDの使い方等、DVDにて説明を受けた後、二組に分かれて実技に移り、傷病者発見から心肺蘇生法、AED操作法までをじっくり時間をかけてご指導いただきました。また講習の合間には指導の救急救命士より細かいアドバイスや、出動現場の状況なども聞かせていただき非常に参考になりました。

講習後『普通救命講習修了証』が受講者に交付され終了しました。



第13回柔整師杯東海少年柔道選手権大会 第6回東海少年柔道形競技会

平成28年7月31日(日)午前10時30分から三重県営伊勢サンアリーナにおいて、第13回柔整師杯東海少年柔道選手権大会・第6回東海少年柔道形競技会が開催されました。

開会式では選手を代表して三重県の6年生山本歩夢選手・明石あんず選手の2名が力強く選手宣誓しました。開会式後、第6回東海少年柔道形競技会が開催され、岐阜、静岡、愛知、三重の順で各県代表が形の演武を行いました。

三重県の(取)樋廻皓也選手(受)中野義建選手は切れのある正確な演武で3位に入賞しました。

続いて第13回柔整師杯東海少年柔道選手権大会が行われ、東海4県より選出された4・5・6年生、男・女6部門の16名(計96名)による個人戦トーナメントで、選手は優勝を目指しました。

各県上位選手の試合とあって切れ味鋭い技が随所に見られ、会場内は指導者・保護者等の熱い声援でつまれました。

三重県の選手では各学年で健闘し、男子では6年生山本歩夢選手が優勝・5年生三浦康瑚選手が準優勝、女子では4年生早川綾香選手が優勝・濱仲千晴選手が準優勝・5年生坂山成選手が準優勝と大活躍しました。



第13回柔整師杯東海少年柔道選手権大会結果

		優 勝	準 優 勝	第 三 位	第 三 位
4 年	男子	小倉未来翔(愛知)	森田 一品(愛知)	中嶋 和楽(愛知)	嶋田 圭吾(愛知)
	女子	早川 綾香(三重)	濱仲 千晴(三重)	永田りん子(愛知)	市東 瑠蘭(愛知)
5 年	男子	富田 猛瑠(愛知)	三浦 康瑚(三重)	沖山 智(静岡)	尾崎 仁(岐阜)
	女子	吉井なつみ(岐阜)	坂山 成(三重)	森近 颯(静岡)	里見 奏来(静岡)
6 年	男子	山本 歩夢(三重)	福田 宏(愛知)	上北 拳(岐阜)	後藤 弘樹(岐阜)
	女子	今井 七海(愛知)	飯田 星那(静岡)	雑賀 天寧(岐阜)	山田 琴(岐阜)

第6回東海少年柔道形競技会結果

順 位		優 勝		準 優 勝		第 三 位
県名		岐阜県		愛知県		三重県
取	6	ひびのるん 白比野るん	5	まきぞの はる 牧園 羽菜	6	ひびのるん 樋廻 皓也
受	6	あんどう しやんに 安藤 駿二	5	いいはら こうや 石原 梗雅	5	なかの 義建 中野 義建

第35回東海ブロック会柔道大会

平成28年7月31日(日)午後1時より三重県営伊勢サンアリーナにおいて、第35回東海ブロック会柔道大会が開催されました。開会式では、日整全国柔道大会5回以上出場者と東海ブロック会柔道大会10回・5回以上出場者がそれぞれ表彰されました。さらに、第4・5・6・7回世界形柔道選手権大会「國の形」で4連覇を果たした岐阜県の(取) 中山智史五段、(受) 林聖治五段両氏が特別功労者として表彰されました。

試合は各県総当りによる5人制団体戦による熱戦が展開されました。

大会は岐阜県が優勝し、2位愛知県、3位静岡県、4位三重県という結果でした。

大会優秀選手には、篠田啓晴選手・日下正樹選手(岐阜県)、岡崎高章選手(愛知県)、吉田卓実選手(静岡県)、川崎洋平選手(三重県)の5名が選出され、敢闘選手には、笹木原久貴選手(愛知県)、梅原拓実選手(静岡県)、中井孝好選手(三重県)の3名が選出されました。



三重県チーム

監督：古市 博己(六段)
 大将：中井 孝好(七段)
 副将：伊藤 孝彦(六段)
 中堅：川崎 洋平(五段)
 次鋒：札堂 勇(参段)
 先鋒：橋爪 良太(五段)

順位

優勝 岐阜県
 二位 愛知県
 三位 静岡県
 四位 三重県

対戦成績

1回戦・・・・・・三重県0-2愛知県
 2回戦・・・・・・三重県0-2岐阜県
 3回戦・・・・・・三重県1-3静岡県



第13回全国小学生学年別柔道大会

平成28年8月28日(日)午前9時から三重県営伊勢サンアリーナにおいて、第13回全国小学生学年別柔道大会が開催されました。

本会にもボランティア救護の依頼があり、6名の会員(古市博己柔道部長・橋本誠会員・西岡正訓会員・札堂勇会員・岡崎修一会員・橋爪良太会員)が救護係として参加しました。

会場内3カ所に設置された救護所にて、堂本洋一伊勢聖友病院院長(脳神経外科医)とともに負傷選手の救護活動にあたりました。



第3回公開柔道練習

平成28年9月4日(日)午後3時より約2時間、高田高校武道場において、本会会員11名、県内の小学生・中学生・高校生56名、各道場の指導者10名の77名の参加により、第3回公開柔道練習が開催されました。

入念な準備体操・基礎運動に続いて寝技の練習、立ち技の打ち込み及び乱取り稽古で汗を流しました。10月に開催される日整全国少年柔道大会・日整全国柔道大会前の最後の公開練習とあって、出場選手を中心にとっても熱心に稽古に取り組む姿がみられ、充実した公開柔道練習となりました。

第2回勉強会開催

平成28年9月4日(日)午後3時より第2回勉強会が本会会館で開催され、本会会員19名が出席しました。

前半は学術部による『地域包括ケアシステム参入に向けての機能訓練指導講習～介護予防・日常生活支援総合事業について～』と題して、伊藤接骨院 伊藤秀樹先生にご講義頂きました。

ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の判定方法である『ロコモ度テスト』や、機能訓練・介護予防として行う各種運動の参考例を、注意点・経験談等を交えながら詳しく説明していただきました。

後半は保険部による『申請書の取り扱いについて』に移り、中村保険部長から疑義返戻書類について様々な事例を紹介していただきました。保険者がどのような疑義をもって返戻されたのか十分に理解し、その疑義に対する正確且つ適切な説明と対応の重要性を説かれました。その他、再請求時の注意点や代理委任署名の原則と取り扱い等について詳しい説明があり、質疑応答で締めくくりました。



平成28年度『熊本市復興』チャリティーゴルフコンペ開催

平成28年9月18日(日)、三重県松阪市の西日本セブンスリーゴルフクラブにおいて、本会主催の『熊本市復興チャリティーゴルフコンペ』が開催されました。これは今年4月14日に発生した熊本地震による被災地の復興支援の一助になればと開催されたものです。

台風16号が発生し接近しており、早朝から降り続く雨のなか会員・会員家族・協同組合指定業者等4組16名が参加し、あいにくの天候にもめげることなくプレーを楽しみました。

ラウンド終了後、表彰式にて観望会と成績発表が行われ、優勝した村松勝三会員が参加者に感謝すると共に『このような活動を引き続き行って頂きたい。次回も是非参加させて下さい。』と挨拶しました。

当日の参加費の一部や募金を基にした浄財約8万円は、本会から『被災地復興支援』として中日新聞社三重総局を通じ寄付させていただきます。

順位	氏名	アウト	イン	トータル	HDCP	ネット
1	村松 勝三	46	48	94	20.40	73.60
2	前田 武久	43	44	87	13.20	73.80
3	横山 茂雄	38	38	76	1.20	74.80
4	瀬古 振一郎	49	51	100	25.20	74.80
5	内藤 将善	47	48	95	19.20	75.80

ドラコン賞…No.7 前田 武久 No.17 前田 武久
ニアピン賞…No.6 村松 勝三 No.16 手塚 幸一



平成28年度 県民公開講座・第21回学術保険研修会開催



平成28年10月2日(日)午前10時から、アスト津において平成28年度 県民公開講座・第21回学術保険研修会が開催され、本会会員124名・本会会員施術所職員5名・社団外38名・保険者6名・一般8名が参加しました。

午前は本会渡邊周会員による『腓骨筋腱脱臼』の研究発表・テーピングの実技に始まり、続いて本会中村明彦保険部長による保険指導がありました。

続いて県民公開講座へと移り、第一部は『精神分野と認知症における作業療法について』を医療法人 紀南会 熊野病院 作業療法科 係長 久保雅邦先生にご講演いただき、作業療法の歴史から実際の医療現場での作業療法の関わり方等、大変分かりやすくご講演いただきました。

午後からの第二部は東京医科歯科大学 大学院スポーツ医学分野 助教 歯学博士 中禮宏先生をお招きし『歯の噛み合わせと運動機能』と題し、咬合と全身の関連性についてご講演いただきました。トップアスリートの症例と共に、咬合の育成(矯正)・維持によりスポーツの安全を確保し競技力の向上に繋げていくことの重要性を説かれました。講演後には参加者からの質問にも丁寧にお答えしていただきました。

続いて保険集団指導へ移り全国健康保険協会 三重支部、三重県国民健康保険団体連合会、東海北陸厚生局三重事務所、三重県健康福祉部医療対策局 医務国保課 国民健康保険班より療養費についてご指導いただきました。

参加者は時よりメモを取りながら終始熱心に耳を傾け、非常に沢山の情報を持ち帰りました。出席会員には大変有意義な一日となりました。



第40回日整全国柔道大会

平成28年10月9日(日)講道館大道場において、第40回日整全国柔道大会が開催されました。

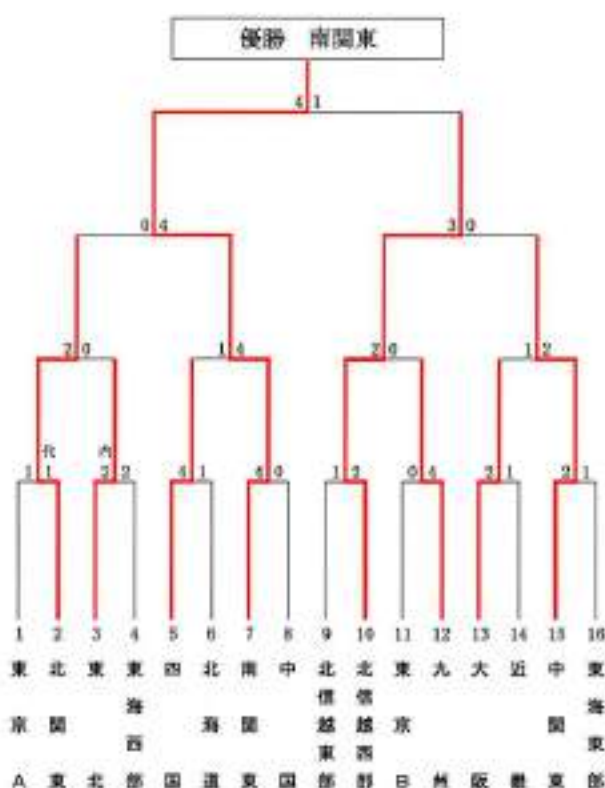
本会からは審判員として中井孝好会員、東海西部代表として、監督 古市博己柔道部長、中堅 川崎洋平会員、先鋒 礼堂勇会員が出演。開会式の表彰では礼堂勇会員が功労者表彰(5回)を受けました。

試合は1回戦で東北と対戦しましたが、2-2(内容負け)で惜しくも敗退しました。

南関東が優勝し、北信越西部が準優勝、三位は北関東・中関東でした。



第40回日整全国柔道大会試合結果



第25回日整全国少年柔道大会・第6回日整全国少年柔道形競技会

平成28年10月9日(日)講道館大道場において、第25回日整全国少年柔道大会が開催され、三重県チームは2勝しましたが3回戦で東京都Aに惜しくも敗退しました。

初戦は奈良県と対戦。各選手の表情と動きは堅く序盤は勝ちを先行されるも、中堅の一本勝ちで内容を逆転。さらに一勝し、2-1で勝利しました。

2回戦はシードである岩手県との対戦でしたが、初戦を乗り越え本来の動きが戻った選手達は、相手を圧倒し見事に5-0で勝利。5人全員が一本勝ちという快挙で次戦に勢いをつけました。さらに声を掛け合い団結し東京都Aとの3回戦に挑みましたが、1-3で惜敗しました。優勝は千葉県、準優勝は茨城県、第三位は東京都A、大阪府でした。

また、午前中に行われた第6回日整少年柔道形競技会では、三重県と出場を争った岐阜県ペアが見事に優勝、愛知県ペアが準優勝と東海勢の活躍が光りました。



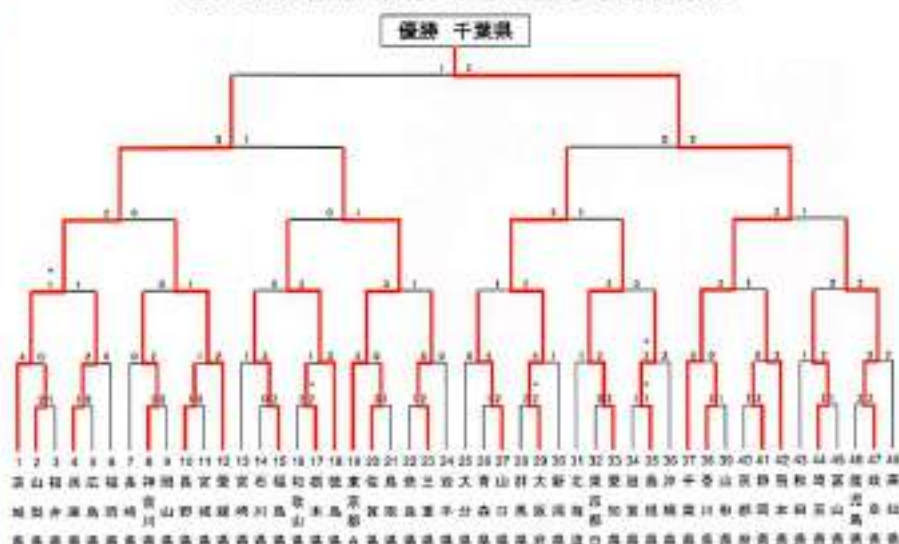
三重県チーム

監督：水谷 澄夫
 大将：山本 歩夢 (鳥武館柔道SP少年団)
 副将：田中 蒼志郎 (三重武道館)
 中堅：三浦 康昭 (さざれ道場)
 次鋒：山科 啓容 (松阪市武道館)
 先鋒：早川 綾香 (松阪市武道館)

対戦成績

1回戦 三重県 2-1 奈良県
 2回戦 三重県 5-0 岩手県
 3回戦 三重県 1-3 東京都A

第25回日整全国少年柔道大会試合結果



日整全国少年柔道大会に出て

早川 綾香

日整全国大会に出るまえは、楽しみでしかたなかったです。自分の名前のはいった、三重のゼッケンを柔道着につけてもらい、10月9日のしあいで着た時は、すごくうれしいのと、きんちょうでいっぱいでした。

1回せん目の奈良県とのしあいでは、引き分けでものすごくやさしかったです。

2回せん目の岩手県とのしあいでは、勝ってものすごくうれしかったです。

3回せん目の東京Aとのしあいでは、指導を2つもらってしまいまいました。ものすごくやさしかったです。

もっと練習をがんばって、今いじょうにつよくなって、来年も五人の選手の一人にはいれるようにがんばります。



日整全国少年柔道大会に出場して

三浦 康瑚

去年もぼくは出場して、その時は一回戦負けしてとてもくやしい思いをしました。

今年は去年みたいに一回戦負けをしくなかったので、柔道の練習の時も負けたくないという気持ちで柔道の練習をやりました。

そして今年も全国大会にでて去年は一回戦負けだったけど、今年の一回戦は勝ってそのまま二回戦も勝って三回戦に東京 A とあたってぼくが勝たなきゃいけないのにとられてしまって流れがかわってしまって、ぼくのつぎの子も負けてしまって3-1 で東京 A に負けてしまいました。

自分のせいで負けてすごくくやしいので、来年こそ一つでも多く勝ちにいく。

来年も出場できれば、大将となって前がとられたら後がとりかえすという気持ちで戦います。



日整の全国大会に出て

田中 蒼志郎

柔整師の三重大会で二位になったとき、ものすごくうれしかったです。

日整の全国大会に出るまで練習をがんばって、東京に行くときはまったく緊張していなかったけど、いざ試合会場にたつと緊張しました。開会式の時、いつもの試合より長かったのでえらかったです。



一回戦は緊張していたので、いつもの組み手・動き・技などが思うように出来ませんでした。でも、負けずに引き分けてした。二回戦は、やっと体が温かくなってきて動きがよくなりました。なので、得意技の大外刈りで一本勝ち出来ました。三回戦は寝技のローリングで返されたので、ローリングについて勉強しようと思った。礼法などもしっかりしてこれからがんばろうと思いました。

全国大会に出て、勝つ自信がついたのでもっと練習して負けた相手を投げられるようがんばりたいです。

日整全国少年柔道大会に出場して

山本 歩夢

ぼくは日整全国少年柔道大会に出場できて良かったです。

一回戦目は奈良県、2-1で勝ってうれしかったです。2回戦目は岩手県、5-0で勝ちました。3回戦目で東京都 A に負けてしまい悔しかったです。去年は1回戦目で負けてしまったけど、今年は1回戦目を突破し三重のチームみんなががんばりました。仲間と共に良い試合が出来て緊張もしたけど楽しかったです。小学校最後の全国大会に出場でき、「大将」として自分なりに出来なかった所や、反省する所も沢山ありました。それを中学でいかせる様、この大事な大会で成長したいと思いました。

強化練習で沢山の事を教えてもらって、大会では少しでも教えてもらった事が出せたと思いました。

それに、この大会に出るには親がぼくに色々なことをいっしょうけんめいやってくれました。そのおかげだと一番気づかせてくれたのも、この大会だと思いました。



第51回東海学術大会岐阜大会

平成28年11月6日(日)名古屋市の「ウインクあいち」において、(公社)日本柔道整復師会第51回東海学術岐阜大会が開催されました。

開会式後A会場(大ホール)では一般公開講座として、岐阜大学大学院 医学系研究科成人看護学分野 教授 西本裕先生をお招きし『フレイルの予防・改善ー健康行動への働きかけー』と題する特別講演がありました。

午後からは会員研究発表が行われ、8題の研究発表がありました。本会からは四日市地区の渡邊周会員が『腓骨筋腱脱臼～手術までスポーツを続けるためのテーピング方法～』を発表しました。

会員研究発表表彰式に続いて日整セミナー介護関連講習会『2016・柔道整復師と介護保険について～柔道整復師の地域包括ケアシステムへの貢献～』を(公社)日本柔道整復師会 保険部介護対策課 川口貴弘先生にご講演いただきました。

B会場では午後から東海地区養成学校の学生による『学生研究発表』が口頭発表にて行われ5題の研究発表がありました。学生研究発表表彰式に引き続き『学生セミナー』が行われ、(公社)岐阜県柔道整復師会 常任理事 新規会員推進委員長 高塚正敏先生に『公益社団法人の案内』と題して講演いただきました。

最後に閉会式があり、次年度主管県の伊藤宣人(公社)三重県柔道整復師会会長の閉会の辞で終了しました。



平成28年度三重県社会人柔道大会

平成28年11月20日(日)三重武道館において、平成28年度三重県社会人柔道大会が開催されました。

昨年に続き2度目の参加となる本会からは、大将 川崎洋平会員(五段)、中堅 橋爪良太会員(五段)、先鋒 岡崎修一会員(三段)が出場し優勝を目指しました。

今大会は出場5チームの総当たり戦となり、初戦は四日市柔道会に0-3、2戦目は三重刑務所に0-2と連敗。3戦目の伊勢地区に3-0で快勝し、最終の4戦目も四日市柔道同好会に3-0で完勝。通算2勝2敗で見事に3位入賞しました。

優勝争いは、通算3勝1分で2チームが並ぶも内容で勝る四日市柔道会が優勝し、三重刑務所が準優勝でした。

また、大会中は会場にボランティア活動として本会救護班も待機し、2名の負傷者に対し救護活動を行いました。



公益社団法人 三重県柔道整復師会チーム

監督：西岡 正訓
大将：川崎 洋平
中堅：橋爪 良太
先鋒：岡崎 修一



平成29年新春意見交歓会開催

平成29年1月8日(日)ホテルグリーンパーク津において、平成29年新春意見交歓会が開催されました。

午後1時45分に開会し会長挨拶後、保険研修会に移り、中村保険部長による『保険相談』があり、引き続き伊藤会長による『保険者への対応』について非常に充実した内容の説明と質疑応答がありました。

午後3時30分より意見交歓会が開演。会長挨拶後、鈴木英敬三重県知事よりご挨拶を頂戴し、続いて、川崎二郎衆議院議員、島田佳和衆議院議員、中川康洋衆議院議員、吉川ゆうみ参議院議員、前業泰幸津市長よりお言葉を頂戴しました。そして三橋裕之(公社)日本柔道整復師会保険部長よりご挨拶を頂きました。

亀井利克三重県国民健康保険団体連合会理事長・名張市長の乾杯の発声により出席者は意見交歓に入り、途中、ご多忙にもかかわらず駆けつけていただいた田村憲久衆議院議員よりご挨拶を頂戴し、中川正美三重県議会議員、津田健児三重県議会議員、今井智広三重県議会議員よりお言葉を頂戴しました。会場内は相変わらず賑やかな歓談模様で、意見交歓も深まりました。

歓談後、富田俊治顧問弁護士の一本締めをもってお開きになりました。



第3回勉強会開催

平成29年2月5日(日)午後3時より第3回勉強会が本会会館で開催され、26名(会員22名・勤務柔道整復師4名)が出席しました。

会長挨拶後、前半は学術部による解剖学の基礎講座があり、第1回勉強会でのご講義が大変好評であった、ロコモペイングループ 共同代表・体表解剖学研究所 講師・伊賀リハビリライフサポート(株)代表であり本会伊賀地区会員の福智秋会員に5月につづいてご講義頂きました。

前回の肩関節に続き、今回は『肘内側部痛において損傷部位を見分ける触察法』と題し肘関節の投球障害等の部位別発生割合で頻度の高い「肘関節内側部」に内容を絞った体表解剖及び触察法でした。前回同様まずは構成する骨や付着する筋・腱・靱帯の解剖学的情報・触察法を、スライドやモデルに対し図示・投影しながら説明していただきました。

内側副腕屈筋の形状と走行、前腕屈筋群との位置関係と関連性等については特に時間を割いて詳細に説明していただきました。参加者もベアになり積極的に質問しながら図示・投影し、体表上で確認しました。最後は超音波エコー観察を実演し、残りの時間で質疑応答にも丁寧に答えていただきました。

後半は 保険部による『申請書の取り扱いについて』に移り、中村保険部長から応急手当の範疇や同意日との整合性、急性・亜急性の解釈について、近接部位について、返戻書類について、委任署名について、負傷原因及び長期理由の詳細な記載について、自賠責について等の詳しい説明があり、質疑応答で締めくくりました。



平成28年度介護保険研修会・機能訓練指導員フォローアップ講習会開催



平成29年2月19日(日)午前10時から本会会館において平成28年度介護研修会・機能訓練指導員フォローアップ講習会が開催され本会会員21名が参加しました。

午前は介護研修会が行われ、『運動器の機能向上について』を山出介護保険部長にご講義いただき、転倒予防、良姿勢の指導、骨折予防及び膝痛・腰痛対策、体幹及び下肢の筋力向上訓練・ストレッチ等、詳しくご説明いただきました。



午後は1時から4時までの3時間、機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会が行われ、伊藤宣人会長より介護保険制度新構築の『地域包括ケアシステムの介護予防日常支援総合型事業等について』の講義があり、日整や他県の取り組みなどが紹介されました。また、以前から介護事業をされている本会会員・栗田正典先生(桑名地区)に『介護予防に係わる事業の現状について』をお話いただきました。

最後に質疑応答の時間も設けられ、参加者からの多種多様な質問にも丁寧に答えていただきました。

『防災を考える』

広報部長・川口泰史

私は、生まれ育った町の「消防団員」として地域の防災活動に携わって15年、休日・昼休み・夜間の出勤に限られますが、火災現場・水災現場・行方不明者捜索等の様々な現場に急行し活動してきました。午前診療が終わると同時に火災現場に駆け付け、消火活動し昼食抜きで午後診療。平日の早朝4時半に集合し、遭難した登山者の捜索に向かい、発見後直ちに下山しすぐ午前診療。台風接近による暴風雨の中で土嚢積み、増水した川に流された行方不明者や認知症高齢者の捜索など、時には厳しい活動もありましたが、出来る範囲で頑張っています。



私が所属している分団では、活動の一環として、大規模災害の被災地視察も行っています。4年前は東日本大震災の被災地を訪れ、仙台・南三陸・気仙沼等見て回り、実際に被災された方にガイドをお願いし、詳しい説明を聞きながら案内していただきました。陸地奥深くに打ち上げられた船や、鉄骨だけを残す防災庁舎も印象的でしたが、特に沿岸部の爪痕はひどく、その様相を言葉で表すならば『虚無・・・』ただ何も無く虚しさあるのみでした。3月になると、ごく一部の復興が報道されますが、あの現場を思い出すと、すべての復興へはゴールが見えてこない。普段通りの生活

を送れているありがたさと、言いようのない申し訳なさが身に滲みます。



今年は1月末に熊本地震の被災地を視察してきました。訪れるまでに見聞きした情報はほんの一部で、実際に自分の目で見ることでしか感じる事が出来ないものが、そこには無数に残っていました。そんな課題が山積みの中、少しずつでしたが『復旧・復興』の種は撒かれ、芽が出始めているところも拝見し、市内の賑わいや、復興商店街の活気に触れ、その精神力と行動力に感服しました。2日目の早朝、一人でレンタカーを借り、中心部から少し離れた市内を見渡せる山の中腹を目指しました。そこには、この名城を作り、城下



町・熊本市内を整備した「加藤清正公」の巨大な立像が、眼下すべてを睨みつけ、右手に自慢の槍を携え堂々と立っていました。展望台から景色を眺めるうち、なんとなく、熊本市民を羨ましく感じました。帰り際、清正公の前に立ち、しばしお顔を拝見しながら、言い出しそうな台詞を思い浮かべ、同時代を駆け抜けた城作りの名人への言伝として、『早々に津へ帰り、藤堂高虎公に伝えよ。我が城は落ちてはならぬ！次は貴殿の番ぞ、天災は、すぐそこに来ておる・・・』。厳しい表情にはよく似合う台詞に自己満足し、高台を後にしました。



今年は三重県内でも1月の大雪被害がありました。北中部の先生方は難儀された事でしょう。この大雪に対し、事前の予報で、降るとはわかっていながら「油断」してはいなかったでしょうか？『災害を未然に防ぐ、あるいは、準備して備える』が防災の基本。諸先生方には、身近に起こりえる災害に対し、発生した場



合の「対処と準備」を、まず、頭の中でシミュレーションしていただき、出来れば自治体等が行っている様々な、防災訓練・防災イベント等に参加し、知識や情報を得て、備えてほしいと強く思います。

最後に、平成29年1月17日発行の中日新聞の1面コラム欄(中日春秋)に、22年前に発生した、『阪神淡路大震災』に関する内容がありました。私にも、小学生と、幼稚園児の2人に加え、3人目が梅雨頃に出産予定であり、深く共感し、胸に期するものがありました。全文を掲載させていただきますので、ご一読いただければ幸いです・・・。



【中日春秋】

ある若いお母さんは、わが子が生まれたとき、ラジオで聞いたこんな言葉を、日記に書きとめたという。「子どもが生まれたとき、私は、二度目の人生が歩けると思った。二番目の子が生まれたときは、こんどは三度目の人生だ、と思った」▼子どもを育てることで、もう一度、人生を歩む。ハイハイをして、立ち上がり、最初の一步を踏み出す。言葉を覚え、歌を覚える。そして入学、進学、期待と不安…一步一步をかみしめつつ、子育てをしていたのだろう▼だが、このお母さんの人生は二十二年前のきょう、突然終わった。阪神大震災が起きた朝、心臓の鼓動が止まったのだ▼あの地震で歩みが止められた六千四百三十四の命の一つ。震災遺児を支援する「あしなが育英会」が二十年にわたる活動の記録をまとめた冊子『世界に広がる虹の橋』を開けば、失われたぬくもりが伝わってくるようだ▼冒頭のお母さんの日記には、こういう一文もあったそうだ。《わが子の》体の中には私の血が流れ、ずっと後の世代に受け継がれていくわけだから。大きな喜び、とういうべきだろう)▼このお母さんの娘さんは、震災後に母の日記を見つけ、自分がいかに愛されていたかを感じ、つらい時に読み返しては励ましてもらったという。命の歩みは完全に断ち切られたのではない。「二度目、三度目の人生」は続いているのだろう。2017.1.17

会員投稿

三柔整キッズチーム初陣

桑名地区 古市博己

平成29年1月29日(日)、大雪による残雪の残る厳しい寒さの中『第12回東員町長杯争奪東員武道館少年柔道大会』が開催されました。この大会は、本会会員の水谷澄夫先生・中村明彦先生(ともに桑名地区)が主催となり、柔道を通じて心身の鍛錬及びその技能を磨ぎ、将来を担う少年少女の健全育成と相互の親睦を図ることを目的とした大会です。

今回、小学生の部・団体戦に本会会員の田端隆宣先生(松阪地区)の長男・隆之介君と次男・晴之介君、川崎洋平先生(鈴鹿地区)の長男・太郎君と次男・誠悟君、伊藤孝彦先生(桑名地区)の長男・秀彦君、松岡圭介先生(四日市地区)の長男・伊吹君が『三柔整キッズチーム』として出場しました。

1試合目は『桑名柔道教室』と対戦、1-4で惜しくも敗戦し、2試合目は『いなべ柔道会』と対戦、5-0で快勝し1勝1敗でした。

三柔整キッズチームの6人は個人戦にも出場し、田端晴之介君が敗戦賞を獲得しました。また、中学生の部・個人戦に西岡正訓先生(伊勢地区)の長男・永真君が出場し、すべて一本勝ちで決勝に進出、惜しくも敗れて準優勝となりましたが、非常に素晴らしい柔道を見せてくれました。

寒い中、ご参加いただきました先生方及びキッズ選手の皆様、お疲れ様でした。また、来年の大会でお待ちしています。



インド旅行

松阪地区 三田康代

年末年始は、インドに住む友達のところに行ってきました。旅の目的は友達に会うことと観光、そしてインドの孤児院に寄付するための子供服を届けることでした。子供服をたくさん入れた2つのスーツケースを持って、初の一人旅！それもインド！かなり不安いっぱいでしたが無事に到着してひと安心。届けた子供服を着てくれる子供たちに会うことはないけれど、この服の向こうには喜んでくれる子供たちがいると思うととても嬉しい気持ちになります。

元旦には、インドのアーグラにあるタージマハルとアーグラ城へ。残念ながら、朝から深い霧が視界を遮り霧に包まれたタージマハル。2日～3日は街を案内してもらって、楽しいインドの旅を満喫しました。今度行くときも、子供服や文具をスーツケースに詰めて届けたいと思います。



● ド素人の養蜂家 ●

津地区 樹田忠正

平成28年3月から始めました。そもそもハチ＝アイタでしたが、ガキのころ食料事情が悪く屋根の上に上り、足長蜂の巣を取り幼虫を食べていたことを思い出しました。

日曜大工で巣箱を作り、それも他人様が持っている巣箱を参照ですから、見てくれは立派な物です。箱の中の細工は何にも無し…ドンガラッポ。そこに友達から分蜂の蜂が固まりになっているから箱もって、「直に來い」との電話。アワ食って箱だけ持って西洋ミツバチを入れたのですから、後は白波知るかの状態。5月も下旬に友達から「蜜を取ったか？」の連絡、「何のことじゃい」と返答したら「蜂が箱の外にウジャウジャ出ているはず」と返事、電話片手に表に出たら、言われるとおりウジャウジャしてる。これから蜂蜜を取るぞと自宅にきてのたまう。蜜を取る資材は何にも無し。頭に被る網を借り、長袖・長ズボン・長靴・家庭用手袋で対応。ミツバチにしてみたら「こいつら俺の家を壊すのか」とカンカン、箱の蓋を取るのにこじ開けたら巣が全部下に落下、8枚の巣がぐちゃぐちゃで一枚ずつ蜂を払いながら寸崩へ、一枚取るごとに『ブス、アイタ アイタ』の大合唱。何とか新しい箱に引っ越して頂いて終了。それから夕方まで屋抜きで蜂蜜を絞り、また刺されて「アイタ アイタ」のオンパレード、どうやら片付けたら夕方、さて試食と思ったらコチトラ糖尿病、スプーン一杯でチョン。苦勞の割にはお返しはなし。ガキの頃の友人たちは鬼籍に入った友人・仕事の都合で都会に出た友人・近所に住む友人…段々寂しくなります。仕事！仕事！ばかりでなく、趣味を持ちましょう。

今回は少し痛い目にあった趣味でした。

沈没

平成28年9月、片手に一杯のミツバチの死骸が連日続き養蜂家に問い合わせたら、「殺虫剤を入れなさい」と助言を受け、通販で頼んだら劇薬指定で、市か県に登録してからしか出せません。泡を食い登録したが到着した薬剤を入れても死が続き、平成29年2月に全滅、あえなく11ヶ月で終了しました。



樹田会員のライフワーク「狩猟」での一コマ：犬に追い詰められ川に逃げた雄鹿

● 速報！ ●

伊賀地区 山出美材

わが伊賀市は、2月22日午後2時22分(ニンニンニン)の日、「忍者市」宣言を行い、議会の議決を得ました。春から始まる伊賀上野NINJAフェスタも15回目を迎え、忍者市である伊賀市を発信していく大きな役割を担うイベントの開催に向けて準備中です。

内容を少し紹介すると、「忍者変身処」で忍者衣装に着替えて、「まちかど忍者道場」で上忍目指して忍者修行。大人も子どもも愛犬も忍者に変身！！忍者気分を味わいながらの城下町を散策。土、日、祝日には、6つの「まちかど忍者道場」が開設されます。「手裏剣打ち・足湯道場」「吹き矢道場」「忍者バズル道場」「天井すいすい道場」「行灯火消し道場」「弓矢道場」と、楽しい道場がたくさん。その他、「伊賀の国コスプレ 春の陣2017」等イベントもたくさん計画されています。

2017年の伊賀上野NINJAフェスタの開催期間は、4月1日(土)から5月5日(金・祝)までです。伊賀の地に「きてだーこ！！」

新入会員紹介

①入会日 ②施設所名 ③施設所住所
④柔整師になった動機 ⑤趣味 ⑥今後の目標



四日市地区
渡邊 大祐先生

- ①平成28年7月
- ②やまけ接骨院
- ③四日市市山分町77-3
- ④自身が怪我をした際にお世話になり柔道整復師の施術に興味を持ったから
- ⑤スポーツ活動
- ⑥皆様から頼りにされる柔道整復師になれるよう努力していきたいと思います



桑名地区
橋本 覚 先生

- ①平成29年1月
- ②さくら鍼灸接骨院
- ③桑名市桑名太一丸687-1 パロー桑名東店内1F
- ④現役時代よく怪我をして接骨院へ通い、将来自分も経験を生かした職業に就きたいと思い決めました
- ⑤格闘技
- ⑥一度退会し復帰する際には快く承認していただき、感謝致します。今後は微力ながら会のために尽くしたいと思っております。それと、いつまでも柔道が出来る体を維持したいです

移 転 「施設所移転」 岡崎 修一 会員

おかざき整骨院
〒518-0431 名張市つつじが丘北1-10

退 会

平成28年5月31日 右京 弘 会員 平成28年7月31日 木下 暢貴 会員
平成29年2月28日 芝下 裕章 会員

お悔やみ

心よりご冥福をお祈りいたします。

平成28年10月15日 西岡 正訓 会員

ご尊父様

平成29年1月15日 岡田 俊彦 会員

ご母堂様

平成29年3月2日 瀬古 振一郎 会員

ご尊父様

平成29年3月21日 山本 博幸 会員

(ご遺族から家族葬の連絡あり)



事務員紹介

平成29年1月より新たに、パート1名（竹村さん）が加わり、現在は3名体制で業務を行っております。会館にお寄りの際は気軽にお声掛けください。

表紙の写真 熊野の獅子巖

熊野市は三重県南部に位置し、人口は約2万人。南東を海、北西を山に囲まれた自然豊かな所で、海と山それぞれに絶景を望める場所が数多く存在。世界遺産「熊野古道」「鬼ヶ城」「獅子巖」「花の窟」をはじめ、日本の棚田百選に選ばれた「丸山千枚田」など歴史と文化、そして大自然に育まれたまちです。

稲葉では、日本で唯一の「那智黒石」の産地として知られ、農業では、柑橘類の栽培が盛んで、香酸かんきつ「新短（にいひめ）」が特産品として有名です。

『獅子巖』

1935年（昭和10年）に「鬼ヶ城」が国の天然記念物に指定された後、1958年（昭和33年）に獅子巖が追加指定され、名勝および天然記念物「熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖」となる。

地盤の隆起と海蝕現象によって生まれた高さ約25m、周囲約210mの奇岩です。昔から南側に位置する神仙洞（しんせんどう）の畔（うん）の岩（巖岩）に対して阿（あ）の岩（雄岩）と呼ばれ、井戸川上流に位置する大馬神社の狛犬として敬愛されていました。このため、大馬神社では今も狛犬が設置されていません。

毎年、5月中旬～約1ヶ月の早朝には朝日を睨え、11・12月の夕刻には満月を睨える姿が見られ、8月17日に開催される「熊野大花火大会」では、絶好の撮影スポットとなっている。

原稿募集

投稿方法 地区名、会員氏名を明記して下さい。匿名を希望する場合は「匿名希望」と明記していただければ配慮いたしますが、氏名、連絡先の記載の無いものは掲載できない場合もありますのでご了承ください。

1 原稿につき800字まで、マイクロソフト社ソフト「ワード」により作成したデータを事務局までメール・郵送・FAXのいずれかの方法をお願いします。手書きによる原稿は事務局宛に郵送をお願いします。（FAXでの送信の場合、データをプリントアウトした原稿は大丈夫ですが、手書きの原稿は文字が判別しにくい場合がありますのでご容赦下さい）

写真を添える場合は、本文とは別に現像した写真を同封（郵送の場合）かJPEGデータを添付（メールの場合）して下さい。写真は後日、返却させていただきます。

**宛先・FAX
メール**

●〒514-0016 津市乙部2086

（公社）三重県柔道整復師会 内 広報部

●FAX (059) 222-3857

●メールアドレス：info@miejusei.com

本会ホームページも随時更新していますのでご覧頂きご意見・ご感想等お寄せください。

<http://www.miejusei.com/>

編集後記

WBCでのチームジャパンの熱い戦いのおかげで、編集作業も一向にはかどらず、今年度も仕上げは期日ギリギリで何とか発行することが出来ました。

数ヶ月前、とあるドキュメンタリー番組で、アメリカ・ニューヨークのベースボール発祥の地「クーパーズタウン」で、毎年開催されているイベントがあり、その中で、野球のユニフォームを着た主催者の一人が、マイクを持ち、参加者である小さな子供連れのファミリー・大の野球好き・老夫婦に向けメッセージを伝えている映像を見ました。

『Take a time』

特にファミリーの親に向けたメッセージのようで、

「時間を作ってあげてください。そしてキャッチボールをしてあげてください・・・」

余った時間ではなく、その子のために時間を作る大切さを伝えたかったのでしょうか。シンクロニシティかと思ひ、TVの画面越しに伝えていただいた事、肝に銘じています。

今年度号を発行するにあたり資料や写真の提供、原稿の投稿にご協力くださいました方々、各関係者の皆様に心より感謝・御礼を申し上げます。

（広報部長 川口 泰史）

柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限りない未来へ連鎖として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名譽を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓うものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を貫く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力に努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽くす。

(社)日本柔道整復師会と(社)全国柔道整復学校協会とで1987年(昭和62年)6月14日制定



平成29年4月25日発行

公益社団法人 三重県柔道整復師会

〒514-0016 三重県津市乙部 2086
電話(059)222-3832 FAX(059)222-3857

発行人：伊藤 宣人 編集者：広報部
印刷所：伊藤印刷株式会社



P-00061
この印刷物に、CSR
に関する記述が
記述されています。



GREEN PRINTING JAPAN
P-000738
この印刷物は、環境に配慮した
素材と工場で製造されています。